

3.4 社会貢献

21世紀の科学技術の進展に伴い、新しい技術シーズが次々と創造され、それを具現化する新しい「物づくり」の技術が絶え間なく要請される。したがって、最先端技術に合わせた新しい原子論的生産技術の研究開発を将来にわたって継続しなければならない。また、大学には、革新的な技術シーズとなる優れた研究成果はあるが、その技術を実用化するための製造技術が無いために、世の中に役立つまでに至っていない事例が多々ある。本拠点では、優れた技術シーズを有する異分野の研究グループと連携し、シーズを実用化する新しい製造技術を開発して大学の成果を社会に還元する。このように、我が国でしかできない高度な生産技術を開発し、大学の技術シーズが事業化できれば、高付加価値の「物」を生産できることになり、日本の産業の生命線である製造業の復活につながる。